におけるをとするののにする

（）

１　このは、におけるをとするののにする（２８１。、「」という。）9のにづき、のにしなをめるものとする。

（）

２　このにおけるのは、２にめるところによる。

（）

３ ないのびのにしがすべきは、のとおりとする。

（）

４　このにめるもののほか、こののにしなはがにめる。

このは、２８４１からする。

１ ないのなえ

をとするののにする（２５６５。「」という。）は、にして、ななく、をとして、・サービスやのをするはにたって・などをする、でないにしてはさないをけることなどにより、のをすることをしている。

ただし、ののをし、はするためになのは、ないではない。したがって、をでないとべてするい（いわゆる）、にされたにするのによるでないとのなるいや、をするためになで、プライバシーにしつつにのをすることは、ないにはたらない。

このように、ないとは、ななく、を、となるはについて、にするがじでないよりにうことであるにするがある。

２ なのの

なにするのは、にして、をとして、・サービスやのをするなどのいがにてなのにわれたものであり、そのにらしてやむをないとえるである。においては、なにするかかについて、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、、の（：の、の、の）びのはの・・ののにみ、やにじて・にすることがである。

は、ながあるとしたには、にそのをするものとし、をるようめること。

３ ないの

ないにたりるはのとおりである。なお、２でしたとおり、ないにするかかについては、のごとにされることとなる。また、にされているについては、ながしないことをとしていること、さらに、それらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにするがある。

（ないにたりる）

○をにをする。

○をにのをしにする。

○をにの、の、パンフレットのをむ。

○をに、シンポジウムへのをむ。

○・の、にではないにもかかわらず、をに、のにきいのをめるなどのをけたり、にがないにもかかわらず、きいのをんだりする。

４ のなえ

１ のにする（以下「」という。）２において、「」は、「がのとのをとしてての及びをし、はすることをするためのかつな及びであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないもの」とされている。

は、におけるのをまえ、にし、そのはをうにたり、のにおいて、からにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、のをすることとならないよう、ののについて、をうことをめている。は、がけるは、のみにするものではなく、におけるなとすることによってずるものとのいわゆる「モデル」のえをまえたものであり、のをすることとならないよう、がのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにうがでないものである。

は、のはの・・にらし、とされるでのにするものにられること、でないとのにおいてののをけるためのものであること、又はの・・のなにはばないことにするがある。

２ は、のやのがめられるやにじてなり、かつのいものであり、がにかれているをまえ、ののためのびについて、「５ なのなえ」にげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にがなされるものである。さらに、のは、の、のにじてわりるものである。のにたっては、の、、にするものとする。

なお、をとするがまれる、とのがにわたるには、そののとはに、するのをにれることにより、・なコストの・につながるはである。

３ のにたっては、において、のにするをとしているにあることを（をむ。）のほか、、、、のやりサインによる、によるなど、がとコミュニケーションをるにな（をするものをむ。）によりえられる。

また、からののみでなく、や（をむ。）によりのがなには、の、・、、コミュニケーションをするがをしてうのもむ。

なお、のがなが、、・、をっていないなど、のがないであっても、がのをとしていることがであるには、のにみれば、にしてとわれるをするためにをきかけるなど、なにめること。

４ は、のをしてにわれるのバリアフリー、の、アクセシビリティのののをとして、のにして、そのにじてにされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、のがすることもあるため、に、とのがにわたるには、するについて、、しをうことがである。

５ がその又はのとしてするをにするは、されるのにきながずることによりがをけることのないよう、のに、をまえたのについてりむようめること。

５ なのなえ

なについては、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、のをし、やにじて・にすることがである。は、なにたるとしたは、にそのをするものとし、をるようめること。

○はへのの（はの、、をなうかか）

○の（・、・の）

○・の

６ の

４でしたとおり、は、やにじてなり、かつのいものであるが、としては、のようなものがある。

なお、したについては、５でしたながしないことをとしていること、また、これらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにするがある。

（にたりるへのの）

○があるに、にキャスターげのをする、スロープをすなどする。

○のいにかれたパンフレットをってす。パンフレットのをかりやすくえる。

○のまでののに、のにわせたでいたり、・・のりについて、のをいたりする。

○のにより、にのがあるに、のをにする。

○をじやすいからでののしがあった、のがであったことから、にをし、のくにをさせてのスペースをける。

○によりをさえることがしいにし、がをさえたり、バインダーのをしたりする。

○やがした、でのをくことがしいにし、、きのボードをいて、かりやすくしをる。

（にたりるのの）

○、みげ、、、のコミュニケーションをいる。

○について、、でするに、のでページがなりることにしてする。

○のあるにをする、みげソフトにできるようデータ（テキスト）でする。

○がなにし、カードをしてをする。

○などで、でうを、にメモをしてす。

○のに、をののでしたり、わかりやすいでしたりする。のがあるには、やといったをう。

○がなにし、や、などをいずににする。

○からしがあったに、ゆっくり、に、りしし、がされたことをしながらする。また、なじみのないはける、はいない、は２４ではなく・でするなどのをにいたメモを、にじてにす。

○のにたり、をながらをくことがなはにのあるやをつにし、ゆっくり、なをがけるなどのをう。

○のにたっては、がののにったサポートをう、なでのをう。

（ルール・のなの）

○をつことがなにし、ののをたで、きをれえる。

○ってにんでをっているに、ののをたで、のがるまでやをする。

○スクリーン、、がよくえるように、スクリーンにいをする。

○をにいへする。

○ののにおいて、のがまれる、、とされていないをのにする。

○との、のにいることによるにより、がある、にの、のやのにじてをする。

○はをうにおいて、にるがられることをに、のあるのをするのをめる。